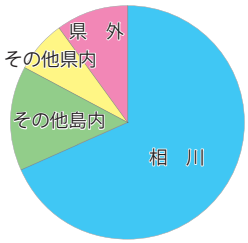
相川
あいかわらばん
瓦版
第2号
2013年7月25日発行
発行：佐渡市世界遺産推進課
電話 0259-63-5136
FAX 0259-63-6130
編集：佐渡市世界遺産推進課
新潟県教育庁文化行政課
世界遺産登録推進室
奈良文化財研究所景観研究室

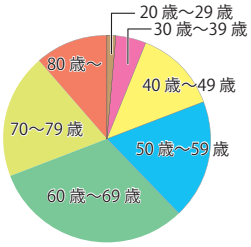
世界遺産と景観に関するアンケート結果報告!!

佐渡市世界遺産推進課と奈良文化財研究所景観研究室では5月末～6月初めにかけて、相川地区（下相川～鹿伏）で「世界遺産と景観に関するアンケート調査」を実施しました。同地区の全世帯に質問票を配布し、252世帯（およそ1／4）からご回答をいただきました。ご協力ありがとうございました。今回の「あいかわらばん」では、その結果の一部をご報告します。

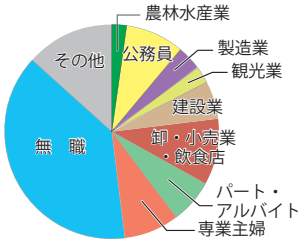
回答者の構成



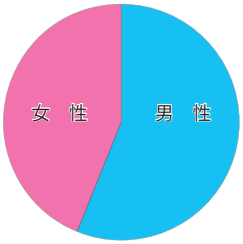
出生地



年齢

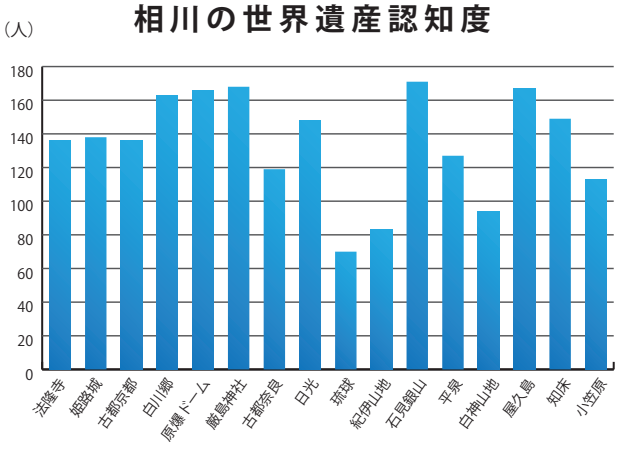


職業



性別

相川で一番知られている日本の世界遺産は「石見銀山」！
全国で一番知られている日本の世界遺産は「屋久島」！



全国的な調査では一番よく知られている世界遺産は「屋久島」（鹿児島県）です。一方、相川では、僅差で「石見銀山」でした。鉱山のつながりからでしょうか。

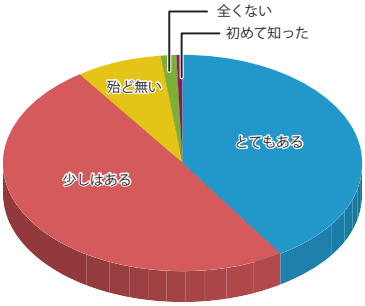
回答者の半分以上の方が10地区以上の世界遺産をご存知でした。全国的な調査では6地区にとどまっており、相川の皆さんは世界遺産への関心が高いことがわかりました。

佐渡の世界遺産登録への取組に関する質問

◆世界遺産登録への取組に対する関心

とてもある　約41％
少しはある　約49％

世界遺産登録への取組に対する関心について伺いました。その結果、およそ9割の方が「関心がある」と回答されています。今回のアンケートで寄せられたご要望なども踏まえながら、今後一層取組を進めていきたいと考えています。

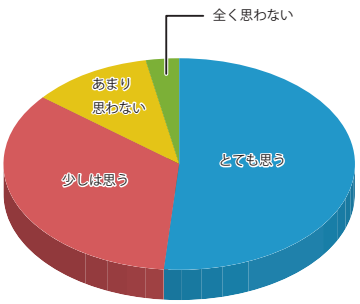


◆世界遺産登録への希望

とてもある　51％
少しはある　35％

8割以上の方が世界遺産登録への希望をもたれていることがわかりました。こちらも高い数字です。ただ、15％くらいの方は、登録に対して消極的な思いがあることもわかりました。

今後はお住まいの皆さんに世界遺産登録のメリットやデメリットをしっかりとお伝えできる機会を設けていきたいと考えています。



◆世界遺産に登録されてほしい理由

☆地域の活性化・観光客増加への期待
☆文化財を後世に伝えていきたい

世界遺産登録を希望される方にその理由を選択してもらったんだ。

まず一番は**「地域の活性化・観光客増加への期待」**（58％）。次に**「文化財を後世に伝えていきたいから」**（43％）が多かったよ。

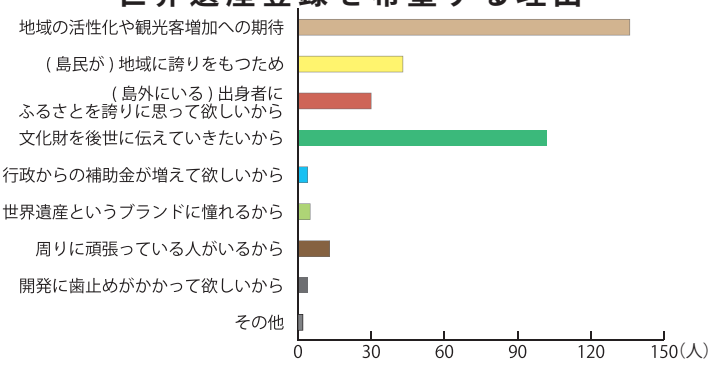
世界遺産登録は観光客の増加や地域経済への良い影響、さらには文化財保護の力になるなど多くの良いことがあるんだけれど、そこへの期待が表れていると考えられるね。

でも、世界遺産登録はいいことばかりではないんだ。

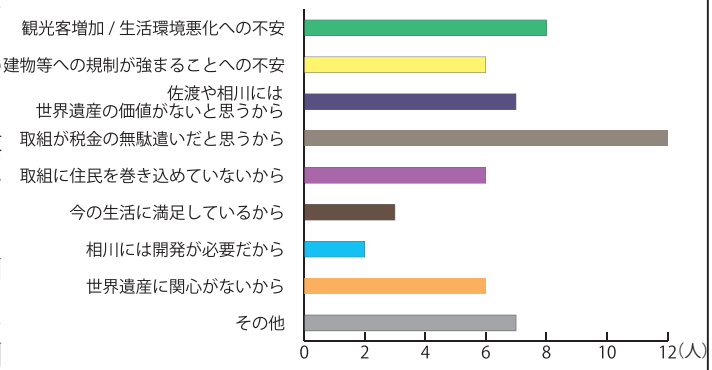
市によれば、**「世界遺産登録後の地域の将来像ついて、今後、皆さんにお伝えし、一緒にいい方向へともっていけるように頑張っていきたいと考えています」**ということだよ。

あわせて世界遺産登録に否定的な方にその理由を伺ったよ。

世界遺産登録を希望する理由



世界遺産登録を希望しない理由



そのなかでは「取組が税金の無駄遣いだと思うから」（35％）が最も多く寄せられたんだ。確かに、限られた予算のなかでさまざまな仕事を展開していく必要があるし、世界遺産登録以外に使うべきだという意見もわかるよね。でも、次の世代が誇りをもって生活できる相川を創りだすためには、大きなキッカケが必要だとトッキッキは思うんだ。県によれば、**「世界遺産登録はその可能性をもっていると思いますので、佐渡市・新潟県ともに税金の無駄にならないような次の世代に誇れる取組を目指して頑張っております。応援してください」**とのこと。

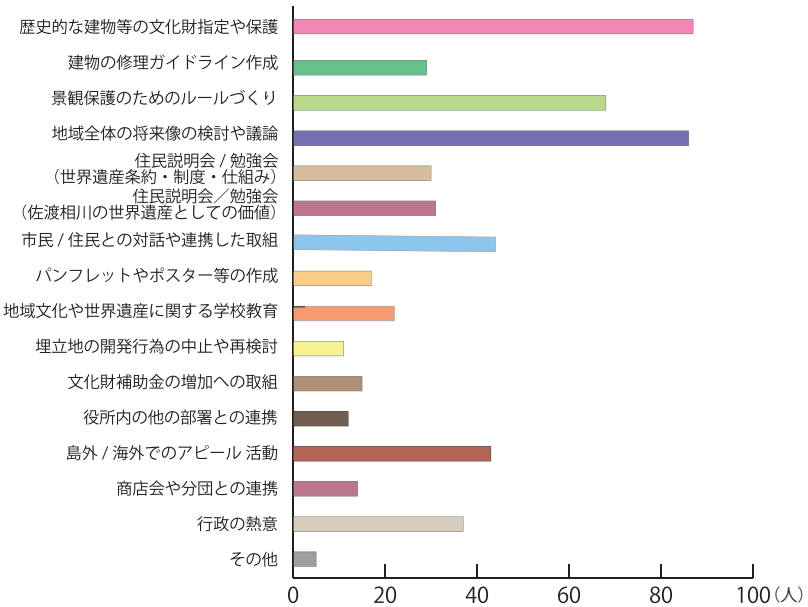
◆世界遺産登録の取組に不足していること

☆歴史的な建物等の文化財指定／保護
☆地域全体の将来像の検討や議論

世界遺産登録に前向きな関心をお持ちの方に、世界遺産登録への取組に不足していることを選択してもらったよ。**文化財の保護**と同じくらい、**地域の将来像の検討**が不足しているという声があがったんだ（各90人程度）。これはとっても重要なことだね。市によれば、**「今、市が進めている文化的景観という文化財の選定や世界遺産登録ということは、文化財を用いて地域の将来を考えることにほかならないんです」**だって。これは行政だけでも、住民だけでも考えられない。みんなで進めていくことが重要なんだ！だから、**「世界遺産座談会」**（4頁）は重要な場だね！みんなで参加しよう。

あと、**景観保護のためのルールづくり**が不足しているという声も70人近くの方から頂いたよ。これについても、**「来年の前半の完成に向けて、現在市のルール（景観計画）を検討中です。もう少しお待ちください」**とのことでした。

取組に不足していること



相川の景観に関する質問

相川のさまざまな景観について、残したいものやどのように残したいかを聞いたよ。

積極的に公開したいものは**「道遊の割戸」**がトップ！

鉱山関連施設や道遊の割戸は積極的に残すため、補助金などを活用すべきという回答が多くみられたよ。また、**相川の二つの大きなお祭り（相川祭り・鉱山祭り）や神社（善知鳥神社・大山祇神社）**についても多くの方が関心をもっていることがわかったんだ。

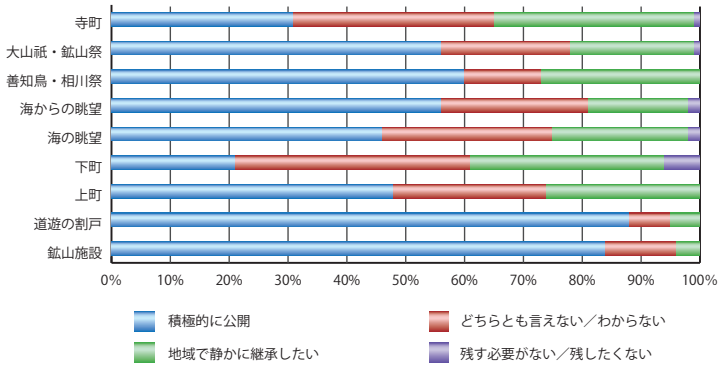
地域文化の象徴である道遊の割戸やお祭りはみんなが積極的に見せたいし、守っていきたいって思っているんだね。

上町（京町通り）は、積極的に公開したいという人が半分より少し下回るくらいでした。25％くらいの人が地域で静かに継承したいという声。生活空間だからね！さらに、そこをどのように残すかという話になると、「どちらともいえない、わからない」という声がさらに増えたんだ。今後、鉱山町としての上町をどのように継承していくかは、みんなで議論していかないといけない問題だよね。市によれば、**「上町の静かで落ち着いた雰囲気や歴史ある建物を継承するために、市でもいろいろな方法を検討している最中です。でも、最終的にどういう方法がベストなのかは、お住まいの皆さんからご意見をいただけなければなりません」**とのことだよ。

一方で、**下町**については、「どちらともいえない・わからない」（40％）や「地域で静かに継承したい」（30％）が多く、「残す必要がない」（5％）という方もいたよ。

でも、昨年度までに市が実施した文化的景観に関する調査で、下町の建物や地形・地割にも大きな歴史的な価値があることがわかったんだって。市は**「今後はこうした成果をもっと積極的にお伝えし、そのうえでお住まいの皆さんに今後どんな下町にしていきたいのか、一緒に考えていける取組を検討中です」**とのことだよ。

相川の景観に対する意向



◆残したいもの・・・「夕日」「千畳敷」「海岸からの眺望」「祭り」などなど

次に、相川で残したいものや景観について自由に回答してもらったよ。そしたら、鉱山や町並みはもちろんだけれど、それ以外に、夕日という答えがとっても多く見られたんだ。**春日崎・上町**など眺望点はいろいろだけれど、**海に沈みゆく夕日**は多くの人にとって相川の好きな景観なんだね。それ以外に、**千畳敷**や**お祭り（鉱山祭り・相川祭り）**などをあげる人も多くいたんだ。

こうした地域の象徴ともいえる景観は、積極的に残していかないとね！

◆世界遺産登録に対する取組については多様な意見が！

世界遺産の取組についてご意見をいただいたよ。応援メッセージや厳しい意見なども含め本当にいろいろな意見が寄せられたんだけれど、相川がこのままではいけないという気持ちがとっても感じられたんだ。

「だからこそ、なにかをしないといけない」と、県も市も思いを新たにしていたよ。

そのなかで「世界遺産登録のメリット・デメリット」を説明する必要があるという意見がよく見られたんだ。これは、世界遺産座談会やその他のイベントなどで積極的に説明していかないとね。

あとは、住民の皆さんの意識が重要という声もあがったよ。今、市では相川の歴史的な景観の価値についてのパンフレットなども作成しているんだって。加えて、夏から秋にかけて、相川でいくつかのイベントも企画しているそうなので、決まり次第お知らせしますとのことです。

それ以外にも多くの意見が寄せられたんだけれど・・あー、紙面の都合で書ききれない！ごめん・・・

でも、今回のアンケートで寄せられた意見はしっかりと県も市も活かしていくそうです。

みなさん、アンケートへのご回答、ありがとうございました!!

◇8月初旬に世界遺産座談会開催!!

4月に分団ごとに開催した「**世界遺産座談会**」ですが、8月に第2回を開催します！前回は顔合わせ程度でしたが、今回からは本格的なお話をしていきます。

今回は、相川が重要文化的景観という文化財に選ばれれば、こんなことができます！ということについて、すでに選定されている西三川地区を例にご説明します。そのうえで、相川ではこんなことをしてみたい！というご提案があれば教えて下さい。それを国に提出する計画に記していきたいと思います。

続いて、相川の上町・下町の建物の価値と、こんなところを残していきましょうという提案をしていきたいと思います。今回のアンケートで、取組が不足していると指摘された「景観の基準づくり」に活かしていきます。

ぜひご参加ください！

世界遺産座談会予告

■ 下町地区（第1・3・4・5分団）
8月6日（火）19時～
会場：あいかわ総合開発センター大集会室

■ 上町地区（第2分団）
8月7日（水）19時～
会場：相川ふれあい集会所

往復書簡 その2

相川と私

山口　由加利
（佐渡市世界遺産推進課調査係）

はじめまして。この春、市役所に就職しました山口由加利（やまぐちゆかり）と申します。私のふるさとは、新潟県のおとなり、群馬県中之条町です。就職を機に、島民となりました。今後は、建物の修理や町並みの保全について、相川にお住まいの皆さんにお話を伺いながら、お手伝いをさせていただきたいと思っております。

先月、「宵乃舞」に踊り子として参加しました。ちょうちんに照らされた町家の軒先に人が集い、唄に合わせて手拍子を取ってくださっていたのが印象的でした。歴史をかんじさせる建物を背に、よく手入れされた庭や鉢植え、畑がある、そんな町並みが大好きです。また、地元の方だからこそ分かる“相川のここが良い”というところを、教えていただきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

相川某所で見つけた一コマ

あれっ、フライング！？

第3号の予告

8月25日刊行予定

□ 世界遺産座談会（第2回）開催報告

□ みんなの声　　ほか

上記のコーナーでは、行政担当者の相川への思いのほか、住民の皆さんからの声（200～300字）もお待ちしております。FAX、電話、メール、郵便にて下記宛先「あいかわらばん編集部　みんなの声係」までどしどしお寄せください。氏名をお忘れなく！

編集後記

▼本誌は、毎号、いろいろな人の手が加わり、作成しています。佐渡市・新潟県・奈良文化財研究所の関係者で編集会議をして、佐渡市役所で印刷を行い、みなさんのお手元に届きます。ああでもない、こうでもないと言いながら、相川のためになることはなんだろうと模索し続ける関係者の息も、最近ピッタリになってきました。今号も、休日返上・夜なべをしながらようやく完成させることができました。

▼世界遺産登録や景観保護の取組は、行政だけではできません。お住まいのみなさんと行政で一緒に取り組んでいきましょう。ぜひ、みなさんのご意見やご要望をお聞かせください。

世界遺産・文化的景観に関するご意見はお気軽にこちらまで

佐渡市役所　世界遺産推進課
電話：0259-63-5136
FAX：0259-63-6130
メール：http://www.e-sadonet.tv/~citysadofm/9isan.html からお問い合わせフォームにて
ウェブサイト：http://www.city.sado.niigata.jp/mine/